

警察・医療・消防など緊急事態が発生したらこの番号へ

ヨーロッパ共通緊急番号 **112** (無料)

ヨーロッパ全域で共通して使える緊急番号「**112**」は英語も通じ、緊急事態に対応可能
圏外でも、ロックがかかったままでも、SIMカードがなくてもかけられます！

通報前に**現在地を確認**、正確な場所を伝える

携帯電話から通報する場合は、発信場所付近にある基地局の情報に基づくおおよその位置情報しか把握できないため、現在地を正確に伝えることが重要です（事故発生場所または付近の建物や家の住所、事故現場周辺の目印や物体など、緊急サービスが位置特定に役立ちそうな情報）。

何が**起こったのか?**を説明

一旦、深呼吸しましょう。相手の話をよく聞き、はっきりと話し、冷静さを保つように心がけてください。

オペレーターから許可が出るまで**電話を切らない**

オペレーターから明確に指示があるまでは電話を切らず、通話終了後でも、緊急サービスから折り返し連絡が入ることもあるので、しばらくは電話の使用を控えましょう。

112 緊急通報へ誤発信した場合は…

「112」緊急通報には、毎日何千件もの誤発信が寄せられています。ロックされていない携帯電話からの誤発信、携帯電話で遊んでいる子どもの誤発信、あるいは意図的でないたずらの発信などが含まれます。誤って「112」に電話をかけてしまったら、電話を切らずに、緊急オペレーターに「**助けは必要ないこと、間違って電話をかけてしまったこと**」を伝えてください。

在イタリア日本国大使館緊急連絡先

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_153.html#menu_5

※「緊急時の連絡先」「問い合わせ先」のタブを開いてご確認ください。

イタリア国内の主な緊急番号 (無料)

州警察 (Polizia di Stato)	113
消防サービス (Vigili del Fuoco)	115
緊急医療サービス (Servizio Emergenza Sanitaria)	118
電気 (E-Distribuzione S.p.A.)	803 500
ガス (Italgas S.p.A.)	800 900 999